

9月2日の基準価額の下落について

2015年9月3日

当社公募投信のうち、以下のファンドの基準価額が5%以上下落していますので、お知らせいたします。

※ブル・ベア型投信、ETF(上場投資信託)を除く。

回次コード	9月2日 下落率5%以上のファンド	基準価額	前日比	前日比騰落率
3835	ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズー豪ドル・コース(毎月分配型)	7,291 円	-409 円	-5.3%
3836	ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)ートリプルリターンズーブラジル・リアル・コース(毎月分配型)	4,603 円	-308 円	-6.3%
4759	ダイワ・ブラジル株式オープンーリオの風ー	3,771 円	-208 円	-5.2%
5765	ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズー日本円・コース(毎月分配型)	9,309 円	-493 円	-5.0%
5766	ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズー豪ドル・コース(毎月分配型)	8,588 円	-678 円	-7.3%
5767	ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズーブラジル・リアル・コース(毎月分配型)	7,006 円	-631 円	-8.3%
5768	ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズー米ドル・コース(毎月分配型)	11,342 円	-702 円	-5.8%
5769	ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)ージャパン・トリプルリターンズー通貨セレクト・コース(毎月分配型)	7,279 円	-522 円	-6.7%

※当日の収益分配金(税引前)支払い前の価額を用いて前日比騰落率を算出しています。

※「ダイワ米国株ストラテジーα(通貨選択型)」および「ダイワ日本株ストラテジーα(通貨選択型)」はファンド・オブ・ファンズであること、また8月31日(現地、以下同様)が外国籍投信のファンド休業日であったことから、8月31日と9月1日の2日間の市場価格の変動が基準価額に反映されています。

次頁に各市場の動向についてのコメント、および主要指標の動きを掲載しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金を支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212(営業日の9:00~17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

◆以下に主な基準価額変動要因となった市場環境について掲載します。

【市場動向】

<国内市況>

国内株式市場は8月31日と9月1日の2日間で、TOPIX(東証株価指数)で▲4.6%と大きく下落しました。

最近の動きを振り返ると、8月半ばには20,500円程度だった日経平均株価は、中国景気への懸念や中国政府の政策に対する不透明感、世界的な景気減速への不安感などから25日には18,000円割れまで急落しました。その後、25日夕刻に中国人民銀行が貸出・預金金利と預金準備率の同時引き下げを発表したことで、28日には19,000円台を回復しましたが、今週に入り、製造業PMI(購買担当者指数)が3年ぶりの低水準となったことや、米国の9月利上げ開始に関して、フィッシャーFRB(米国連邦準備制度理事会)副議長が、その可能性を排除しない旨の発言をしたことなどから、再び下落しています。

<海外市況>

米国株式市場は8月31日(現地)と9月1日(現地)の2日間で、S&P500種指数で3.8%の下落となりました。

特に1日の下落率が大きくなりました。中国政府が発表した8月の製造業PMIが50を下回ったことを背景に、世界的な景気減速懸念が広まる中で、米国時間においても8月の米国製造業景況指数が市場予想を下回ったことが嫌気され、米国株式市場は軟調に推移しました。また、OPEC(石油輸出国機構)が生産抑制に向けて他の産油国と協調するとの見方が弱まったことに伴い原油価格が下落し、エネルギー関連株が売り込まれたこともマイナス材料となりました。

9月1日(現地)のブラジル株式市場は、代表的な株価指数のボベスパ指数で2.5%下落しました。中国の製造業PMIが3年ぶりの低水準に低下したことから、アジアや欧州株式市場が大きく下落する中、ブラジル株式市場も大きく下落しました。またブラジルの製造業PMIが前月比で低下したこと、昨日政府より提出された2016年予算案の基礎的財政収支が赤字であり格下げ懸念が高まったこと、原油価格が大きく下落したことなども悪材料視されました。

ブラジル・リアルは、主要輸出先である中国景気の不透明感や、政府の2016年当初予算案が市場の失望を招いたことから下落しました。

豪ドルは、中国への輸出依存度が高い通貨として、中国の景気不透明感が高まったことから下落しました。

【(ご参考)各ファンドに対する主要指標の動き】

<関連ファンド>

◆ダイワ米国株ストラテジーα

◆ダイワ日本株ストラテジーα

市場動向(株価指標)

市場指数	直近値	騰落率
	9月1日	8月28日比
TOPIX	1,478.11	▲4.6%
S&P 500種	1,913.85	▲3.8%

市場動向(為替、対円)

市場指数	直近値	騰落率
	9月1日	8月28日比
ブラジル・リアル*	32.63	▲3.6%
豪ドル*	84.34	▲2.5%

*ロンドン時間16時のレートを元に算出しています。

<関連ファンド>

◆ダイワ・ブラジル株式オープン -リオの風-

市場動向(株価指標)

市場指数	直近値	騰落率
	9月1日	前日比
ブラジル・ボベスパ指数	45,477.06	▲2.5%

市場動向(為替、対円)

市場指数	直近値	騰落率
	9月1日	前日比
ブラジル・リアル	32.51	▲2.7%

(出所)ブルームバーグのデータを基に大和投資信託が作成

以上

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客さまが実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。ファンドにかかる費用の項目や料率等は販売会社や個々のファンドによって異なるため、費用の料率は大和投資信託が運用する一般的なファンドのうち、徴収するそれぞれの費用における最高料率を表示しております。また、特定ファンドの取得をご希望の場合には、当該ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をあらかじめ、または同時にお渡しいたしますので必ずご覧いただき、投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。

ファンドの費用について

ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。

投資者が直接的に負担する費用		投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
購入時手数料	料率の上限は、 3.24% (税込) です。	運用管理費用 (信託報酬)	費用の料率の上限は、 年2.1816% (税込) です。
換金手数料	料率の上限は、 1.296% (税込) です。	その他の費用・ 手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 (その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。)
信託財産留保額	料率の上限は、 0.5% です。		

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
 ※ファンドにより異なりますので、詳しくは販売会社にお問い合わせください。
 ※くわしくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスクについて

ファンドは値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替リスクもあります)に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。また、新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。リスクの要因については、ファンドが投資する有価証券等により異なりますので、お申し込みにあたっては、ファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

販売会社:

大和証券

Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
 加入協会 日本証券業協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 一般社団法人金融先物取引業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託

Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会